※令和３年度以前入学生用

学校番号	３１３

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「新編古典Ｂ改訂版」　（大修館書店）						
副教材等	「記入してわかる やさしくくわしい古典文法ノート　修訂版」（尚文出版） 「トータルサポート　新国語便覧」大修館書店						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これまでに学んだ知識（単語・文法・古典常識など）を使って、多くの作品を味わいましょう。
　また、その作品の作者や時代背景に思いを巡らせ、自分との共通点や相違点を見つけましょう。
・予習として必ず本文を音読し、本文写しなどの宿題にも丁寧に取り組んでください。
　授業の後には学習内容を振り返って、復習してください。
・提出物の期限は守り、定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

２　学習の到達目標

・文章の内容や構成、登場人物の心情を的確に理解することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を深め、言語感覚を磨く。
・古典に関する知識理解を身につける。
・歴史・文化・自然・人間などに視野を広げ、現代を生きるための知恵や知識を学び、人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典を読む力を進んで高めるとともに，古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり，その価値を考察したりして，自分の考えを深め，発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め，知識を身に付けている。
評価方法	・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート，プリント，ワークシート	・学習活動における発言内容や態度 ・ノート，プリント，ワークシート ・定期考査	・学習活動における発言内容 ・ノート，プリント，ワークシート ・定期考査
	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。		

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
一学期	古典文法	敬語の復習 助動詞「めり」「べし」 ・古典文法を学び、作品読解のための手がかりとする。	○		◎	a:古典文法や敬語の学習について積極的に学ぼうとする態度が見られる。 c:敬語の種類・対象について理解している。 助動詞の意味を理解し、読解の手がかりとしている。	・音読の観察 ・作品内容の読み取りの確認 ・発表やワークシートの観察 ・授業態度の観察 ・定期考査
	宮中の生活―随筆	『枕草子』 雪のいと高う降りたるを ・登場人物の関係や行動を読み取る。 ・筆者の教養の高さや機知に富んだ言動を理解する。	○	◎		a:敬語表現を踏まえ、登場人物の立場に関心を持って読もうとしている。 b:話の流れを理解し、筆者の発言のおもしろさを理解している。	
	女性の視点―日記	『紫式部日記』 和泉式部と清少納言 ・二人に対する筆者の視点や考えを理解する。	○	○		a：『源氏物語』の作者について関心を持ち、理解を深めようとしている。 b：『枕草子』や筆者の背景を踏まえ、その視点の鋭さを読み取っている。	
	古文の舞台	『旧国名地図』 西日本 ・旧国名が現在の地名に残っていることを学ぶ。			○	c：身近に旧国名が残っているかを調べ、昔と現在がつながっていることを理解する。	
	動物の寓話―故事成語	『列子』　朝三暮四 ・身近な故事成語（四字熟語）の成り立ちを理解する。 ・猿と猿回しが何をたとえたものかを知り、この話の趣旨をつかむ。		○	◎	b：故事成語の成り立ちのおもしろさを味わっている。 c：書き下し、訓読のきまりを理解している。 故事成語の意味と、漢文の句法を理解する。	
	自然と人生―俳諧	『去来抄』 行く春を ・師弟の作品批評の様子を読み取り、芭蕉の芸術観を理解する。	○	◎		a：松尾芭蕉と筆者、門人たちの知識を整理し、理解を深めようとしている。 b：会話の主を的確に読み取り、それぞれの考えの違いを読み取っている。	

※令和３年度以前入学生用

二学期	古典文法	助動詞「らる」「す」「ぬ」 ・古典文法を学び、作品読解のための手がかりとする。	○		○	a：古典文法や敬語の学習について積極的に学ぼうとする態度が見られる。 c：助動詞の意味を理解し、読解の手がかりとすることができる。	・音読の観察 ・作品内容の読み取りの確認 ・発表やワークシートの観察 ・授業態度の観察 ・定期考査
二学期	人間の本質―儒家の思想	『荀子』　人之性悪 ・荀子の考え方やその時代背景の知識を深める。	○	◎	○	a:「性善説」と比べて、筆者の論の展開を読み取ろうとしている。 b:「人の本性は悪である」と考える理由を読み取り、それに対する自分の意見を述べている。 c: 書き下し、訓読のきまりを理解している。	
	歴史と人間―歴史物語	『大鏡』 競べ弓 ・『大鏡』の構成や内容、「歴史物語」の特色を理解する。 ・登場人物の関係、行動、心情をとらえ、彼らのその後の境遇を理解する。		◎		b：道長と帥殿の歴史的対立を踏まえ、彼らのその後の境遇がどうなったのかを読み取っている。また、道長に圧倒される帥殿の様子や、道長の人柄などを的確に読み取っている。	
	理想の世界―物語	『桃花源記』 ・作者の社会観や自然観を読み取ったうえで、当時の社会に対する批判的視点を理解する。		◎	○	b：「桃花源」の世界や村人の様子、漁師の行動を読み取っている。 c：書き下し、訓読のきまりを理解している。また、作者や時代の背景を理解している。	
三学期	愛の行方―浄瑠璃	『曽根崎心中』 ・音読して、リズムを味わう。 ・曾根崎という、身近な舞台に関心を持つ。 ・登場人物の心理や言動を読み取り、そのおもしろさを理解する。	○	○	○	a:身近な場所と古典文学との関係性を理解しようという意欲が見られる。 b:登場人物の言動にこめられた気持ちを読み取っている。 c:七五調のリズムに注意し、工夫して朗読ができている。	
	家族を思う―物語	『大和物語』　をばすて ・「歌物語」の特色を理解する。 ・人間の生き方、感情を理解して、「自分ならどうするか」と自身と重ね合わせて味わう。		○	◎	b:老人に対する登場人物の行動や感情を読み取っている。 当時と現代を比べて、老人に対する言動を理解できている。 c:和歌の修辞法を理解し、内容を味わっている。	

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:読む能力
c:知識・理解

※令和３年度以前入学生用

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。